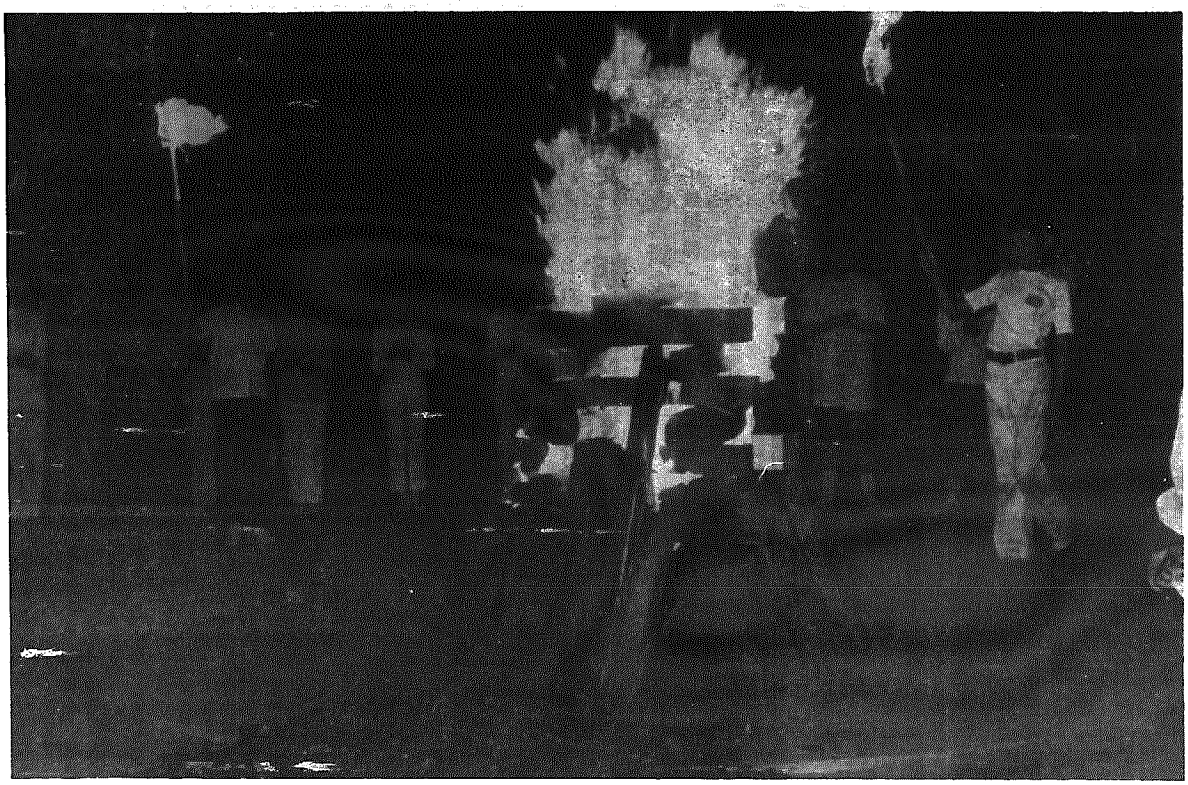
74 8
No. 27
昭和49年8月1日発行
発行 横越村役場

広報 よこごし

～おもな内容～

1.交通安全作文（P1）
2.救急車の要請は緊急のときだけ（P2）
3.モーレツ広域防除スタート（P2）
4.こどものおこづかい（P3）
5.巡回図書はじまる（P4）
6.こどもクイズ（P4）



8/1～2 ジュニアリーダー研修。村松上杉少年自然の家で行う。 （写真48.7）

あせってる 今があなたの赤信号

夏の交通事故防止運動 7/21～8/20

夏期における交通事故は、海水浴やレジャー、墓参、帰省などで交通量が増加し、また道路交通環境の変化から毎年過労運転、安全運転義務違反等に起因する交通事故が増加する傾向にあり、又、夏休みによる解放感からこどもの交通事故が多発しています。

昨年、本県で帰省にあたり自宅の目前で、交通事故を起し、二人の兄弟が死亡するといういたましい事故がありました。

特に夏場は、寝不足によるいねむりから大きい事故が起きています。

これらの交通事故を未然に防止するため、広く地域や職域で交通安全運動を展開し、村民一人一人の自覚によって、正しい交通ルールを身につけることが大切です。

村の交通安全協会では、夏期における交通事故防止の徹底を図るため、交通安全指導所の開設、および交通安全村民大会等の交通事故防止運動を七月二十一日から八月二十日までの間に実施しますから村民各位の絶大なご協力をお願いします。

トラック同士の衝突事故

交通安全入選作文

にいさんのじこ

横越小一 佐久間律子

きょねんのけいろうの日おかあさんがうちで、あみものをしていました。えのもとさんのおとうさんが、はしりながら、おおきなこえで、「さくまさんとこの子どもがくるまにぶつかりましたよ」といってきました。おかあさんはきゅうにしごとをなげるみたいにして「おや、どうしよう。」と、たって「はいどうもありがとうございました。」といって、はしっていきました。そこは、こうみんかんへいくみちの、かわのそばでした。わたしがいったら、おかあさんはいませんでした。にいさんもいませんでした。どこへいったのかなあとおもいました。

みちには、にいさんがのっていった、わたしのじてんしゃが、おいてありました。そしてかわには、にいさんのくつが、かたっぽうだけおちていました。

わたしは、どんなになったんだろう、にいさんのかおをはやくみたいなと、おもいました。まなみさんのうちで、ちょっとあそんでから、うちへかえりました。すこしあそんでいたら、おかあさんと、にいさんが、びょういんから、かえってきました。にいさんは、あしをけがしていました。まっしろいほうたいが、いっぱいまいてありました。わたしは、にいさんをかわいそうだなあ、とおもいました。

でも、にいさんは、すこし、にこにこしました。

そのかおをみてやっとあんしんしました。

わたしが「にいさん、あし、いたい」ときいたら、にいさんは、「うん、すこし。」といいました。

わたしは、こうつうじこはこわいから、どうろを、おうだんするときは、いつも「みぎをみて」「ひだりをみて」「またみぎをみて」わたります。

横丁話

何とかして定刻に開会できる方法はないだろうか、横越時間をなくするにはどうしたらよいかということで村民の皆さんの御意見をお伺いしました。

夕方は何時までも明かるくて八時近くまでも日が暮れないと、ついいつまでも仕事が離れないでしょうし、子どもも時間を忘れて遊んでいるでしょう。こんな時期になると時々夜の会合などは八時を過ぎてもまだ集りが悪いことになる。定刻三十分ひどい時には一時間過ぎて集らなくても始めざるを得ないことになります。単に横越だけではなくてどこの市町村でも問題になっていることです。

関心が薄いのか、よい方法がないのか応募を頂いた意見は僅かに一通でした。当日の会議の協議題を明確にすること、何時までに終了するかをはっきり記載して案内状をおくばりすればよいのでないかという提案でした。又午前九時とか十時とかきまりきった時間でなく九時五分とか十時十五分とかというような案内をすれば、何か特別な予定があるのではないかと思ってちゃんと集られるのではないかというような名案をお聞かせ頂いた方もありました。〆切はすぎましたけれどもお考えがありましたらどしどし御遠慮なくお寄せ頂きたいと思っております。

定刻まで全員が揃わないことの不都合は前号の記事の通りですし、お互いに遠慮をすることは皆さん御承知の通りです。要は皆さんのお気持によることでしょう。大切な場合は定刻まできちんと集られる会の例もたくさんあるのです。そういう習慣がついてしまえば別に苦痛にはならないのでしょう。横越時間が定刻に開会できるようなよい意味での横越時間といわれるようにしたいものです。（田中）